



# 雨ニモマケズ

## 「ドリームツアー、中村営業主任からの手紙」

校長 原 直樹

本校2年生が、5月の若狭阿納研修でお世話になった旅行社ドリームツアー添乗員、中村営業主任から、2年学年主任の吉岡教諭に手紙が届きました。旅行社の一個人の方から学校にこのような手紙を頂くことは珍しいことです。長い内容でしたので、途中一部を以下に紹介します。

### <中村営業主任からの手紙>

先生とお話した際に、私は“福岡中学校の職員室の雰囲気がい”とお話したと記憶しています。私は、様々の学校を訪問する機会があるので、職員室の空気に敏感になっています。学校毎に空気感が違って面白く思っています。そんな中、福岡中学校様の職員室を訪問する際に、私が感じていたのは、“明るい”“清々しい”という印象でした。

出発式のあいさつの時も、教頭先生、吉岡先生はとても大きな声で生徒さんにお話しをされていました。授業中の教室に向かって、生徒さん達が大きな声で行ってきます、と言ったのに驚きましたが、それに大きな声で返答してくれた1年生と、その授業中の先生の対応にも驚きました。生徒さん達が気持ちよく過ごせるよう、校長先生のご指導の下、先生方で学校の雰囲気作りにご尽力されているのだと思いました。

阿納滞在中、2日目昼食の時に、鯛の仕分けのお手伝いをしてくれた女子については感心しました。鯛を仕分けしていたのは吉田さんの奥さんでしたが、特にお願いしたわけでもないのに、女子生徒さんによるお手伝いが始まりました。2~3人の生徒の対応をすると、より効率的な方法に変更して仕分受付をさばっていました。魚を持ってくる生徒さん達も特に違和感もなく、奥さんではなく、女子生徒さんの方へ持ってくるようになっていました。この生徒さんが最後の合唱で大きな口を開けて歌っていた様子を覚えています。

民宿まるいちの吉田さんは、私と二人きりで話す時も、福岡中の歴代の生徒さん、引率の先生達はとても感じがよいと言っていました。解散式で“良いところを挙げればきりがなし”と述べてくれた事に過度なお世辞はないように思います。

コロナで訪問先を変更する際、教務主任の先生のご提案で阿納への変更が決まり、今年で3年目の訪問だと聞いています。阿納は人気の海浜研修の地域なので、新規または訪問実績が浅いとなかなか、5月下旬の暖かい時期での予約が取れません。吉田さんが“この学校はいい”とずっと言っていたのは、3年間の生徒さん達を見てきての感想だと思います。

今年度の2年生の研修の素晴らしさ、そしてこの3年間の若狭阿納研修の成果が、このようなお褒めの言葉に繋がったのだと思うと、なんとも誇らしい気持ちでいっぱいになります。保護者の皆様、地域の皆様にもぜひ読んでいただきたく、ここに紹介いたしました。